2025年08月12日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【RBA(豪中央銀行)が利下げ】

お盆休みの真っ最中です。

本日(2025年8月12日)のニュースは、RBA(オーストラリア準備銀行、豪中央銀行)が、政策金利を0.25%利下げしたこと。

豪ドルの政策金利は、3.85%から3.60%に引き下げとなった。

ただし、この利下げは、マーケット(外国為替市場)の事前予想通りで、全くサプライズは無い。

+++++

前回(2025年7月8日)のRBA理事会では、政策金利を3.85%に据え置いた。

この時(2025年7月8日)のマーケットの事前予想では、利下げをほぼ確実視していたので、大きなサプライズであった。

この時(2025年7月8日)のRBA理事会では、
「理事の過半数が、インフレの鈍化を裏付けるさらなる情報を待つ」とした。

理事のうち6人が据え置きを支持し、3人が反対した。

+++++
+++++

上述の状況下で、本日(2025年8月12日)のRBA理事会での利下げは、改めて確実視されていた。

+++++

本日(2025年8月12日)のRBAの声明では、
「世界経済の不確実性は依然として高い」と述べている。

米国の関税措置に関して、その範囲と規模などがやや明確になりつつあるものの、その措置が世界の経済活動に悪い影響を与えると予想され、リスクは依然として残る、と指摘した。

++++
++++

当初に述べた通りに、お盆休みの真っ最中です。

日本の政局も不透明な状況が続いています。

ウクライナ情勢にしても、ガザの情勢にしても、具体的な進展は、まだ無い、と言えます。

混沌とした状況が、お盆明けにも続くのだろう、と考えます。

++++

今年は、このまま「突発的なニュース」が起こらずに、静かな「お盆休み」であることを願っています。

++++
++++

(2025年08月12日東京時間14:25記述)